

大学院農学研究科生物環境学専攻地域環境工学コース  
施設基盤学教育分野（助教）の公募期間延長について

1. 対 象 者

(1) 所属・職名：大学院農学研究科 生物環境学専攻 助教 1名  
教育組織：地域環境工学コース

(2) 教育分野：施設基盤学

生活環境と生物生産環境の維持・創造に必要な水資源を恒常的に確保し供給するための水利施設の設計、施工、維持管理、さらには、農村地域の基盤整備に係わる地盤工学的諸問題を、理論の導出、現地調査、室内実験、数値解析等により解決するための教育研究を行う。

(3) 資格条件：ア. 博士の学位を有する者または取得見込みの者  
イ. 土木構造物の設計・施工や建設材料に関する研究業績がある者  
ウ. 農業土木に関する教育研究の推進と地域貢献に意欲のある者  
エ. 技術者教育に意欲のある者  
オ. 決定次第、早期に着任可能な者

(4) 任期：5年（テニュア教員育成制度）

※ 愛媛大学のテニュア教員育成制度は、優れた能力開発プログラムを提供することに加え、財政的支援（研究費の配分等）を行うことで、若手教員の教育研究環境を充実させ、大学人としてふさわしい総合的な能力を有する教員を育成することを目的としています。詳しくは、注）をご覧ください。

(5) 雇用条件：給与は、年俸制を適用する

(6) 担当授業科目：大学院：地域環境工学実験Ⅰ（分担）、地域環境工学実験Ⅱ（分担）、研究プレゼンテーションⅡ（分担）、地域環境工学演習（分担）  
学部：地域環境工学概論（分担）、土質・材料実験（分担）、測量学実習（分担）、応用測量学実習（分担）、卒業論文（分担）、地域環境工学演習（分担）、地域環境工学現地実習（分担）

2. 提 出 書 類

(1) 履歴書：所定様式 1通

（所定様式は<http://www.agr.ehime-u.ac.jp/outline/inquiry>からダウンロードしてください。）

(2) 研究業績等目録：A4版横書き（学術論文及び著書は、目録に記載したもの全てについて別刷りあるいはコピーを1部ずつ添付）  
学位論文—題目、年、頁  
著書—書名（編、単著、共著、分担）、総頁数、著者等（分担項目、頁）、出版社、発行年  
学術論文—全著者、年、題目、誌名、巻（号）、通頁  
参考業績—学術論文に準ずるもの、特許・外部資金獲得・社会貢献等の実績  
なお、口頭発表は件数のみで可  
教育実績—担当授業科目、場所、期間

(3) 現在までの教育研究内容の要約（800字程度）  
着任後の教育研究に対する抱負（800字程度）

(4) 博士の学位を未取得の者は、取得見込みを証明できる書類

(5) その他参考となる資料

3. 応 募 期 日：平成30年1月21日（当日消印有効）

（書留等確実な方法を用い、当方から連絡する場合の宛先、電話番号及びメールアドレスを明記のこと）

4. 送 り 先：〒790-8566 松山市樽味3-5-7 愛媛大学大学院農学研究科長  
（封筒に「施設基盤学教育分野」と朱書のこと）

5. 選 考 方 法：一次：書類選考

二次：面接及びセミナー

（但し、旅費等の経費は自己負担とする）

6. 問い合わせ先 : 農学部総務チーム 電話 (089) 946-9803  
FAX (089) 977-4364  
e-mail: agrshomu@stu.ehime-u.ac.jp

7. 公募書類の送付先 : 所 定

[付 記]

コースの状況 (平成29年9月22日現在)

現 員 : 教授4, 准教授3, 助教0 [うち 施設基盤学教育分野 教授1 (小林範之) ]

※ 個人情報保護のため、応募書類に記載された個人情報は、選考及び採用以外の目的には使用しません。また、応募の秘密は厳守します。  
なお、選考の結果、採用される方の氏名を愛媛大学ホームページで公表させていただきます。

※ 男女共同参画社会基本法の趣旨に配慮し、教員の選考を行います。

注) テニユア教員育成制度

愛媛大学では、総合力 (教育力・研究力・マネジメント力) の高い大学教員の育成を目指して、平成25年4月から「テニユア・トラック制度」 (平成29年4月から「テニユア教員育成制度」) を導入しました。

具体的には、新規採用された講師 (医学系研究科, 附属病院, 先端研究・学術推進機構プロテオサイエンスセンター重信ステーション及び総合健康センターに所属する者を除く。) 及び助教 (医学系研究科臨床系, 附属病院及び総合健康センターに所属する者を除く。) 及び実務家教員等 (教授, 准教授等) について、5年の任期を付し、任期中の最初の3年間で合計100時間の能力開発プログラムの受講を義務化するとともに、任期中の最初の3年間に財政的支援 (研究費の配分等) を行います。

テニユア資格 (終身雇用) の審査については、期間中の2年6月を経過した日から2年9月を経過する日までの3月間の期間内において中間審査を、4年4月を経過した日から4年7月を経過する日までの3月間の期間内において最終審査を実施し、中間審査または最終審査に合格した者をテニユア職に移行させます。最終審査に不合格となった場合は、5年で任期満了となります。

なお、詳細についてはテニユア教員育成制度に関するホームページ  
(URL : <http://ts.adm.ehime-u.ac.jp/>) をご覧ください。